

各 位

平成28年1月 吉日  
東北大学東北アジア研究センター

東北大学東北アジア研究センター シンポジウムのご案内

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

恒例となっておりますシンポジウムを開催いたしますので、ご案内申し上げます。

敬具

## 「共生の東北アジア：中蒙・中露辺境を事例として」

日 時：2016年2月13日〔土〕 13:00～18:00 入場無料 参加自由

場 所：東北大学片平さくらホール2階 仙台市青葉区片平2-1-1

### ◆セッション1 共生の東北アジア：中露辺境の場合

発表者： トカチョフ・セルゲイ（極東連邦大学）

藤原克美（大阪大学大学院言語文化研究科）

サヴェリエフ・イゴリ（名古屋大学大学院国際開発研究科）

コメント： 麻田雅文（岩手大学人文社会科学部）

堀江典生（富山大学極東地域研究センター）

### ◆セッション2 共生の東北アジア：清代中蒙辺境の場合

発表者： ソドビリク（内蒙古大学蒙古学学院）

岡 洋樹（東北大学東北アジア研究センター）

包フフムチル（東北大学東北アジア研究センター）

コメント： 広川佐保（新潟大学人文学部）

橘 誠（下関市立大学経済学部）

### ◆総合討論

お問い合わせ：東北大学東北アジア研究センター コラボレーションオフィス

tel: 022-795-3619

e-mail: colab@cneas.tohoku.ac.jp



❖日時：平成28年2月13日(土)

13:00-18:00

Date: 13 February, 2016. 13:00-18:00

❖会場：東北大学片平さくらホール

2階会議室

MAP

Site: Conference room, Katahira Sakura Hall 2F

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/katahira/areae.html>

趣旨説明 (岡 洋樹)

Preliminary remarks (OKA Hiroki)

●セッション1 共生の東北アジア：中露辺境の場合

Session 1 | Communitarity in the Border Area: The Cases of Russo-Chinese Border

トカチョフ・セルゲイ (極東連邦大学) 13:10-13:35

TKACHEV Sergei (Far Eastern Federal University)

「南ウスリー地域における土地開拓を例としたマルチエスニックな植民について」

Multietnic Colonization of South-Ussuri Area as a Special Case of Land Development

藤原克美 (大阪大学大学院言語文化研究科) 13:35-14:00

FUJIWARA Katsumi (Osaka University)

「満洲国下のチューリン商会における多民族共生」

Communitarity among Workers of Different Nationalities in Churin Company under Manchukuo

サヴェリエフ・イゴリ (名古屋大学大学院国際開発研究科) 14:00-14:25

SAVELIEV Igor (Nagoya University)

「戦前の極東ロシアへの中国人の移住と第一次世界大戦期の北西ロシアにおける中国人契約労働者」

Prewar Chinese Migration to the Russian Far East and Chinese Contract Laborers in the Russian Northwest during the First World War

コメント：14:30-15:00

Comments:

麻田雅文 (岩手大学人文社会科学部)

ASADA Masafumi (Iwate University)

堀江典生 (富山大学極東地域研究センター)

HORIE Norio (University of Toyama)

●セッション2 共生の東北アジア：清代中蒙辺境の場合

Session 2 | Communitarity in the border area: The cases of Mongolian Region in the Qing Times

ソドビリク (内蒙古大学蒙古学学院) 15:20-15:45

SUDEBILIGE (Inner Mongolian University)

「清代チャハル南部長城縁辺地域における蒙漢人の共生」

Communitarity in the Mongolian and Chinese Mixed Community in the Border Area along the Great Wall of Southern Chahar in the Qing Times.

岡 洋樹 (東北大学東北アジア研究センター) 15:45-16:10

OKA Hiroki (Tohoku University)

「清代中期の家畜窃盗事案からみるモンゴルにおける人の移動と共生」

The People's Transboundary Activities and Communitarity Observed in the Thieving Cases of Livestock in the Middle Qing Mongolia.

包フムチル (東北大学東北アジア研究センター) 16:10-16:35

Bao Huhmuchir (Tohoku University)

「清代後期内モンゴル・ハラチン地方における土地利用とモンゴル社会」

The Land Use and Mongolian Society of the Qaračin Region in Late Qing Inner Mongolia.

コメント：16:45-17:15

Comments:

広川佐保 (新潟大学文学部)

HIROKAWA Saho (Niigata University)

橋 誠 (下関市立大学経済学部)

TACHIBANA Makoto (Shimonoseki City University)

総合討論 (17:20-18:00)

General discussion

募集 仙台市外より参加する大学院生等を対象に旅費の一部を補助します。  
応募要領は東北アジア研究センターのホームページに掲載しております。

東北アジア

検索

問合せ：東北大学東北アジア研究センター (コラボレーションオフィス)

TEL: 022-795-3619 mail: [colab@cneas.tohoku.ac.jp](mailto:colab@cneas.tohoku.ac.jp)

URL: <http://www.cneas.tohoku.ac.jp>

CNEAS International Symposium: Communitarized Frontiers of Northeast Asia

中蒙・中露辺境を事例として

●会場案内図



国家間の紛争や対立に彩られているかに見える東北アジアであるが、歴史的にも現在でも、国々の境界地域では確実に越境と共生の構造が作り出されてきた。このシンポジウムでは、東北アジアの辺境地域に見られる共生の姿を歴史的・現代的に捉える。

東北大学東北アジア研究センターシンポジウム

入場無料  
参加自由

事前申込は不要です

